

## 第2回 自然を語る会

講演者に自然に関わる話題を提供していただき、参加の皆さんと意見交換を行う場です。  
今年度は8月（終了）、9月、10月の3回行います。第2回は以下のとおり行います。  
まわりの方にお声をおかけください。

日時：9月12日（火）（午後6時～7時30分）

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス（アスティ 45 12階、札幌市中央区北4条西5丁目）

定員：50名（先着順）

参加費：1,000円（会員は500円）

申し込み・問い合わせ先：北海道自然保護協会（E-mail: info@nc-hokkaido.or.jp、TEL:011-876-8546  
FAX:011-211-8465

講師：在田 一則氏（北海道自然保護協会会長）

演題：北海道ボールパークアクセス道路と自然保護

講師紹介：札幌市生れ。学生時代は道内の山で山スキーを楽しむ。北大大学院理学研究科で日高山脈やヒマラヤの地質学の研究・教育に従事、専門は岩石学・構造地質学。2005年3月に退職し、現在は北大総合博物館ボランティア、NPO法人北海道総合地質学研究センターシニア研究員。2014年から会長。

講演要旨：北広島の日本ハム新球場への新しいアクセス道路（道道きたひろしま総合運動公園線：延長約2.4km）は当初、特別天然記念物野幌原始林の側に計画されたが、地元の自然保護団体などの反対により、現在の裏の沢川ぞいのルートに変更され、事業者の北海道が設置した「環境保全を考える協議会」の意見をもとに工事が進められ今春完成した。講演では、アクセス道路の計画・施工の経緯を紹介し、公共事業における自然保護の進め方について考える。

## 第3回自然を語る会

日時：10月10日（火）（午後6時～7時30分）

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス（アスティ 45 12階、札幌市中央区北4条西5丁目）

定員：50名（先着順）

講師：興野 昌樹氏（協会常務理事）

演題：「外来種は悪くない」論の主張を真剣に考えてみる